

令和6年度全九州高等学校体育大会 第52回 全九州高等学校ヨット競技大会 兼全国高等学校総合体育大会ヨット競技九州地区予選会

主催：九州高等学校体育連盟 佐賀県教育委員会 NPO法人佐賀県ヨット連盟
後援：公益財団法人佐賀県スポーツ協会 唐津市 九州ヨット協会
主管：九州高等学校体育連盟ヨット専門部 佐賀県高等学校体育連盟
大会期間：令和6年 6月12日（水）～ 6月16日（日）
開催地：佐賀県唐津市 佐賀県ヨットハーバー
種目：420級、シングルハンダー級（ILCA6、シーホッパー級SR）、FJ級

帆走指示書

本帆走指示書（SI）における略語表記の意味

- ・【NP】の表記は、艇による抗議の根拠とはならない規則であることを意味する。これは RRS60.1(a) を変更している。
- ・【SP】の表記は、レース委員会、またはテクニカル委員会が審問なしに標準ペナルティーを適用することが出来る規則を意味する。これは RRS63.1 及び付則 A5 を変更している。当該委員会はその規則の違反を抗議することもでき、その場合は審問を経てプロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定される。

1 適用規則

- 1.1 本大会は、『セーリング競技規則 2021-2024』（以下 RRS という）に定義された「規則」が適用される。
- 1.2 艇は自らの安全のためマスト・トップに浮力体をつけることが出来る。これは国際 420 級クラス規則 A.8.2 に基づき同規則 C.5.1 に追加することとする。また、国際レーザークラス規則 25 を適用する。
- 1.3 国際 FJ 級クラス規則 C.5.1(b)(1) について、以下を適用する。
「電子的時計装置と電子的コンパスは許される。但し、データを相互に関連付けるどのような機能もってはない。」
- 1.4 RRS 付則 T が適用される。
- 1.5 RRS40.2(b)により RRS40.1 を適用する。
- 1.6 RRS 付則 P を適用する。ただし、RRS P1.2 の『セール番号』を『セール番号または識別番号』に置き換える。これは RRS P1.2 を変更している。

2 帆走指示書の変更

帆走指示書（以下 SI という）の変更は、それが発効する当日の 09:00 までに大会.org 上の大会公式掲示板に掲示される。ただし、レース日程の変更は、発行する前日の 18:00 までに大会.org 上の[公式掲示板](#)に掲示される。

3 選手への通告とコミュニケーション

- 3.1 競技者への通告は、大会.org上に設置された公式掲示板に掲示される。また、通告以外の情報を全九州高等学校体育大会ヨット競技のLINEオープンチャット（以下「LINEチャット」という）で知らせる。サイト等の不具合等は、艇からの救済の要求の根拠とはならない。これはRRS 62.1(a)を変更している。競技者は、LINEチャットへ登録が必要であり、艇長のみが登録できる。

全九州高等学校体育大会ヨット競技大会 LINEチャット

https://line.me/ti/g2/Qk7LQvI_A7wzbQGTEgpL3PD_NOcKHdHHNRGyxQ?utm_source=invitation&utm_medium=link_copy&utm_campaign=default



登録名は、

【学校名+クラス(420/SH)_性別(男…M/女…F)セールNo.】 (例)「唐津西 420_M54321」

とすること。

監督・コーチ：学校名+監督(コーチ)+苗字 (例)唐津西 監督 田中

役員：担当部署+苗字 (例)発着水路 山田

- 3.2 抗議、救済要求、得点照会、プロテスト委員会への質問などの手続きを行うフォームは、大会.orgの上部にある「+」ボタンを押すことでアクセスできる。
- 3.3 【DP】レース中、緊急の場合を除き、艇は音声やデータを送信してはならず、かつ、すべての艇が利用できない音声やデータ通信を受信してはならない。この制限はモバイル・フォンにも適用される。

4 行動規範

【DP】選手及び支援者は、主催団体、レース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会からの合理的な要求に応じなければならない。

5 陸上で発する信号

- 5.1 陸上で発する信号は、ハーバー門扉横の信号柱に掲揚される。
- 5.2 【DP】【NP】音響信号1声とともに掲揚するD旗は、「艇は、出艇してもよい」ことを意味し、艇はD旗掲揚以前にハーバーを離れてはならない。また、D旗掲揚後の30分より前に予告信号を発することはない。
- 5.3 予告信号予定時刻の30分前までにD旗が掲揚されない場合、そのレースのスタートは時間に定めなく延期されている。

6 レース日程

- 6.1 レース日程

日付	予定レース数	最初のレースの スタート予告信号予定時刻
6月13日(木)	プラクティスレース	13:30
6月14日(金)	3レース	10:25
6月15日(土)	3レース	09:55
6月16日(日)	1レース	09:55

※ただし、天候及び進行状況次第では、15日(土)は最大4レース、16日(日)は最大2レースを実施することがある。

- 6.2 各クラス7レースを予定する。
- 6.3 RRS レース信号「オレンジ旗」に以下を追加する。
「レースが間もなく始まることを艇に注意喚起するために、予告信号を発する5分前までにレース委員会信号艇(以下シグナルボートという)に音響1声と共にオレンジ旗を掲揚する。」
- 6.4 大会最終日は、12:00より後に予告信号を発することはない。

7 ブリーフィング

次の日時にてハーバー管理棟前でレース委員会、テクニカル委員会、プロテスト委員会より選手・指導者に対してブリーフィングを行う。6月14日(金)、15日(土)が9:00から、16日(日)は8:30から行う。

8 クラス旗

クラス旗は以下のとおりとする。

クラス	旗
男女420級	420旗(白地に青で420)
男女シングルハンダー級	ILCA7旗(白地に赤でILCA)
男女FJ級	FJ旗(白地に青でFJ)

9 レース・エリア

【添付資料1】に示す「B海面」「C海面」を用いる。

10 コース

- 10.1 【添付資料2】に各コースのコース見取り図と「コース・コード(02、I2、01、LR)」、各レグ間のおおよその角度、通過するマークの順序、それぞれのマークをどちら側に見て通過するかを含むコースを示す。
- 10.2 予告信号以前に、シグナルボートに帆走すべき「コース・コード」と最初のレグのおおよそのコンパス方位を掲示する。

11 マーク

- 11.1 マーク1、2、3S、3P、4Sおよび4Pは、オレンジ色円錐台形ブイとする。
- 11.2 SI13に規定される新しいマークは、緑色円錐台形ブイである。
- 11.3 スタート・マークはスターボードの端にあるシグナルボートと、ポートの端にあるレース委員会艇とする。
- 11.4 フィニッシュ・マークは、ポートの端にあるレース委員会艇と、スターボードの端にある黄色円筒形ブイとする。

12 スタート

- 12.1 スタート・ラインは、スタート・マーク上で『オレンジ旗』を掲揚しているポールの間とする。
- 12.2 【DP】【NP】予告信号が発せられていない艇は、他のレースのスタート手順の間、スタート・エリアを回避しなければならない。【添付資料3】にスタート・エリアを示す。
- 12.3 スタート信号後4分以内にスタートしない艇は、審問なしに『スタートしなかった(DNS)』と記録される。これはRRS A5.1とRRS A5.2を変更している。

- 12.4 レースが再スタートまたは再レースとなった場合に掲示される RRS30.4 に抵触した艇の識別番号は、次のレースの予告信号前にシグナルボートのスターン掲示板に掲示される。
- 12.5 【NP】 SI12.4 以外でスタート時に UFD 及び BFD と記録された艇の識別番号を一連のスタート完了後、シグナルボートのスターン掲示板に掲示する。この掲示の失敗またはリストの不十分及び誤りは救済要求の根拠にはならない。これは RRS60.1(b) を変更している。

13 コースの次のレグの変更

コースの次のレグを変更する為に、レース委員会は、(a) SI11.2 に示す新しいマークを設置するか、(b) フィニッシュ・ラインを動かすか、(c) 風下ゲートを動かす。また、実行できれば直ぐに元のマークを除去する。その後の変更で新しいマークを置き換える場合、そのマークは元のマークで置き換える。

14 フィニッシュ

フィニッシュ・ラインは、フィニッシュ・マーク上で青色旗を掲揚しているポールと、フィニッシュ・マークのコース側との間とする。

15 ペナルティー方式

- 15.1 【NP】 【SP】 SI19.1 の出艇申告及び帰着申告違反艇は、レース委員会より標準ペナルティーが課される。ペナルティーは「標準ペナルティーのリスト」に従い課される。但し DNF より悪い得点が与えられることはない。
- 15.2 【SP】 の記された規則に対する「標準ペナルティーのリスト」は、1日目の 9:00 までに大会.org に掲示される。標準ペナルティーを課された艇は、得点略語 STP を用いて記録される。これは、RRS A10 を変更している。
- 15.3 RRS T1 に基づく「レース後のペナルティー」を履行した艇は、得点略語 PRP を用いて記録される。これは RRS A10 を変更している。

16 タイム・リミットとターゲット・タイム

- 16.1 マーク 1 のタイム・リミット、レース・タイム・リミット、フィニッシュ・ウィンドウ、及びターゲット・タイムは、以下に示す。

マーク 1 のタイム・リミット	レース・タイム・リミット	フィニッシュ・ウィンドウ	ターゲット・タイム
25 分	70 分	15 分	01 コース 25 分 その他のコース 45 分

- 16.2 マーク 1 のタイム・リミット内に 1 艇もマーク 1 を通過しなかった場合、レースを中止する。
- 16.3 フィニッシュ・ウィンドウは、最初の艇がスタートし、コースを帆走してフィニッシュした後、艇がフィニッシュするまでの時間である。フィニッシュ・ウィンドウ内にフィニッシュできず、かつその後リタイアせず、ペナルティーを課されず、または救済を与えられなかった艇は、審問なしに『フィニッシュしなかった (DNF)』と記録される。これは RRS35、A5、A10 を変更している。
- 16.4 ターゲット・タイムどおりにならなくても、救済要求の根拠とはならない。これは RRS62.1(a) を変更している。

17 審問要求

- 17.1 抗議及び救済または審問再開の要求は、大会 RRS.org の上部にある青色「+」ボタンを押すことでアクセスできる。『[審問要求書フォーム](#)』に記入のうえ、締切時間内にオンラインで提出しなければならない。

- 17.2 抗議締切時刻は、その日の最終レースに最終艇がフィニッシュした後、またはレース委員会が「本日はこれ以上レースを行わない」という信号を発した後のどちらか遅い方から 60 分とし、大会.org ([抗議時刻の通告](#)) に掲示する。
- 17.3 審問の当事者であるか、または証人として名前があげられている競技者に審問の予定を知らせるため、抗議締切時刻後約 30 分以内に通告を大会.org ([審問予定](#)) に掲示される。審問は掲示された時刻に始められる。当事者はプロテスト委員会事務局前に待機していなければならない。
- 17.4 レース委員会、テクニカル委員会、またはプロテスト委員会からの抗議の通告を RRS61.1(b) に基づき、艇に伝えるために大会.org ([審問予定](#)) に掲示する。
- 17.5 RRS 付則 P に基づき、RRS42 違反に対するペナルティーを課された艇のリストは、大会.org ([水上ペナルティー](#)) に掲示される。
- 17.6 レース公示 (以下 NoR という) 及び SI の規則で【SP】及び【DP】の記された規則、クラス規則、RRS G の規則及び RRS77 の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量により失格よりも軽減することができる。
- 17.7 大会計測規定、クラス規則または【SP】および【DP】とマークされた NoR または SI の違反に対するペナルティーは、プロテスト委員会の裁量でペナルティーが決定する。艇は、これらの違反に関する審問より前に、大会.org の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる『[ペナルティー報告フォーム](#)』に自ら違反したことを記入して提出することで、「スポーツマンシップと規則」に定められたスポーツマンシップの基本原則に従うことができる。
- 17.8 レースを行う最終日では、『審問の再開の要求』は、次の時間内に『[審問要求書フォーム](#)』に記入のうえ、提出されなければならない。
- (a) 要求する当事者が前日に判決を通告された場合には、抗議締切時間内。
- (b) 要求する当事者が当日に判決を通告された後の 20 分以内。
- これは RRS66 を変更している。
- 17.9 レースを行う最終日には、プロテスト委員会の判決に基づく救済要求は、判決の掲示から 20 分以内に提出されなければならない。これは RRS62.2(a) を変更している。

18 得点

- 18.1 大会の成立には、1 レースを完了することが必要である。
- 18.2 (a) 完了したレースが 4 レース未満の場合、艇のシリーズの得点はレース得点の合計とする。
- (b) 完了したレースが 4 レース以上の場合、艇のシリーズの得点は、最も悪い得点を除外したレース得点の合計とする。
- 18.3 艇は、掲示された得点またはシリーズ成績に誤りがあると判断した場合、得点及び成績の訂正を要求することができる。『[得点照会フォーム](#)』は、大会.org の上部にある青色の「+」ボタンを押す事でアクセスできる。

19 安全規定

- 19.1 【NP】【SP】出艇申告及び帰着申告
- (a) 出艇及び帰着申告は、出艇帰着申告所において艇長の署名により行う。
- (b) 出艇申告は、各日の最初のレースのスタート予告信号予定時刻の 30 分前まで受け付ける。その日の再出艇の場合は随時受け付ける。署名は出艇までに完了させること。
- (c) レースに参加 (出艇) しない艇は、その日の予告信号予定時刻の 30 分前までに帰着申告所に準備している「リタイア報告書」を入手し、レース委員会に提出しなければならない。
- (d) 帰着した艇は、速やかに帰着申告書に署名しなければならない。その日の最終レースにおける帰着申告締切時刻は、抗議締切時刻と同時刻とする。

- 19.2 【NP】【SP】レースからリタイアする艇は、速やかにレース・エリアを離れ、可能であればできるだけ早くその意思を近くのレース委員会艇、プロテスト委員会艇、テクニカル委員会艇に伝えなければならない。また、帰着後は速やかに『リタイア報告書』をレース委員会事務局へ提出しなければならない。
- 19.3 レース委員会、またはプロテスト委員会は、艇が安全に帆走できないと判断した場合、リタイアを勧告することができる。また、艇が緊急救助を必要とするような危険な状態と判断した場合は、強制的に救助活動を行うことがある。この場合、艇からの救済の要求の根拠にはならない。これは RRS62.1(a) を変更している。
- 19.4 個人用浮揚用具（ライフジャケット）については、RRS40.1、および 40.2(b) を適用する。基準の詳細は、日本セーリング連盟 HP に掲載されているので、参照すること。
- 19.5 参加艇はレース中、クラスルールに規定されている曳航用ロープを搭載しなければならない。
- 19.6 【NP】【SP】艇は【添付資料 4】に示すように、セールに識別番号を貼付すること。

20 【NP】【DP】第 1 レース乗員届の提出、及び乗員の交代と装備の交換

- 20.1 【SP】すべての艇は、レース初日の出艇申告時に出艇申告書横のレース委員会受付へ『第 1 レース乗員届』を提出しなければならない。
- 20.2 【SP】2 レース目以降に乗員を変更する場合は、その都度、出艇前にレース委員会に『乗員変更届』を提出しなければならない。海上で交替した場合は、予告信号前にシグナルボート（またはレース委員会艇）に伝えた後、帰着後に『乗員変更届』を提出しなければならない。
- 20.3 事前に登録された艇の乗員以外の乗員の交替は、正当な理由（乗員の病気怪我等）とレース委員会の書面による事前承認がないかぎり許可されない。
- 20.4 損傷または紛失した装備の交換は、レース委員会またはテクニカル委員会の承認なしでは許可されない。交換の要請は、最初の妥当な機会に、大会.org の上部にある青色の+ボタンを押す事でアクセスできる『[装備の交換申請フォーム](#)』に記入のうえ、送信する事でテクニカル委員会またはレース委員会に提出し、許可を得なければならない。海上で交換要請は、最初の妥当な機会に、シグナルボートに報告し、抗議締切時間までに装備の交換申請フォームを送信しなければならない。

21 【NP】【DP】装備と計測のチェック

艇または装備は、クラス規則、レース公示及び帆走指示書に従っていることを確認するため、いつでも検査されることがある。海上でレース委員会、またはテクニカル委員会のメンバーに指示された場合、艇は直ちに検査のために指定されたエリアに向かわなければならない。

22 運営艇

運営艇の標識は、以下のとおりとする。

- ・レース委員会艇・・・・・・白色旗
- ・プロテスト委員会艇・・・・黄地に「JURY」旗
- ・テクニカル委員会艇・・・・白地に「T」の旗
- ・救助艇・・・・・・・・・・・・緑色旗

23 【NP】【DP】支援艇

- 23.1 チーム・リーダー、コーチその他の支援者は、最初にスタートするクラスの準備信号の時刻からすべての艇がフィニッシュもしくはリタイアするか、またはレース委員会が延期、ゼネラル・リコールもしくは中止の信号を発するまで、【添付資料 5】に示す「艇がレースをしているエリア」の外側にいなければならない。

- 23.2 支援艇は、ピンク色旗の標識をつけなければならない。
- 23.3 シグナルボートに音響1声とともに「V旗」が掲揚された場合、SI23.1は適用されず、全ての支援艇は救助活動に従事しなければならない。この旗は、レース中であっても掲揚されることがある。これはRRSレース信号V旗およびRRS37を変更している。
- 23.4 支援艇は、前項の場合を除き、レース委員会艇、プロテスト委員会艇、テクニカル委員会艇、救助艇の無線通話を傍受してはならない。
- 23.5 支援艇（船外機艇）乗船者は、海上にいる間、常にキル・コード（安全装置）を体に装着した状態でなければならない。

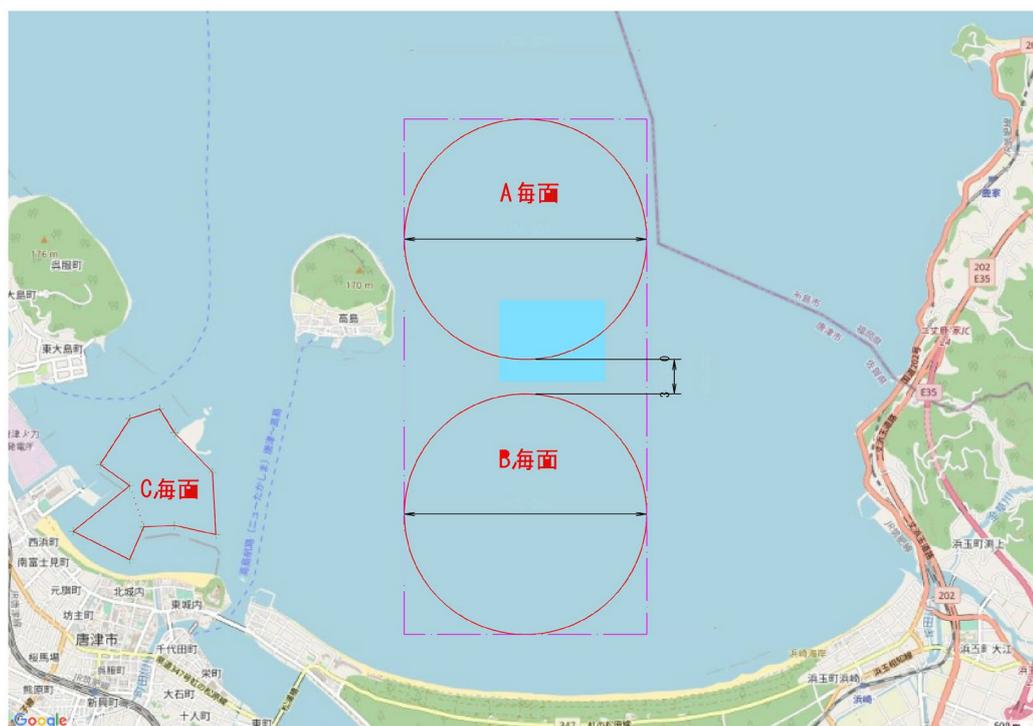
24 ごみの処分

ごみは支援艇、または大会運営艇に渡してもよい。

25 リスク・ステートメント

- 25.1 RRS3には『レースに参加するか、またはレースを続けるかについての艇の決定の責任はその艇のみにある。』とある。大会に参加することによって、それぞれの競技者は、セーリングには内在するリスクがあり、潜在的な危険を伴う行動であることに合意し、認めることになる。これらのリスクには、強風、荒れた海、天候の突然の変化、機器の故障、艇の操船の誤り、他艇の未熟な操船術、バランスの悪い不安定な足場、疲労による傷害のリスクの増大などがある。セーリング・スポーツに固有なのは、溺死、心的外傷、低体温症、その他の原因による一生消えない重篤な傷害、死亡のリスクである。
- 25.2 この大会の競技者は、自分自身の責任で参加する（RRS3『レースをすることの決定』参照）。主催団体は、大会の前後、期間中に生じた物的損害または人身傷害もしくは死亡によるいかなる責任も負わない。

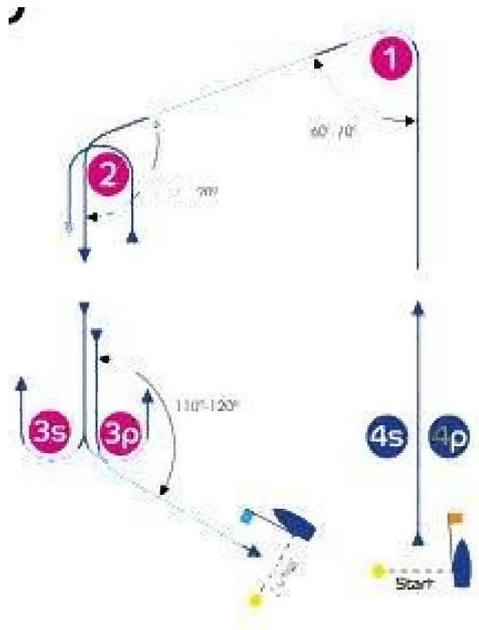
【添付資料1】 レース・エリア



【添付資料 2】 コース見取り図及びコース・コード (S = Start , F = Finish)

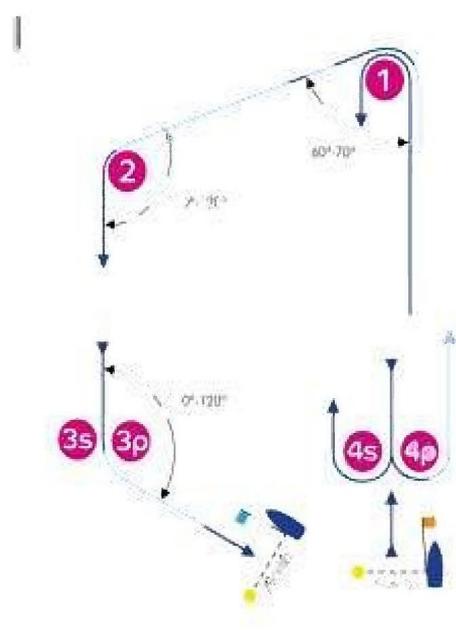
コース・コード「02」

S-1-2-3s/3p-2-3p-F



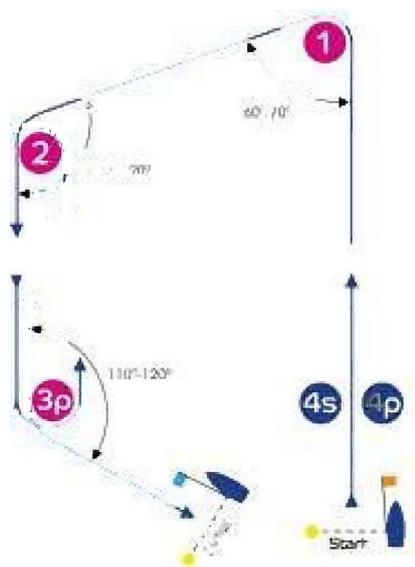
コース・コード「I2」

S-1-4s/4p-1-2-3p-F



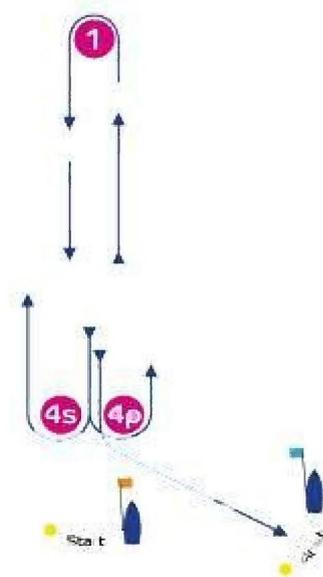
コース・コード「01」

S-1-2-3p-F

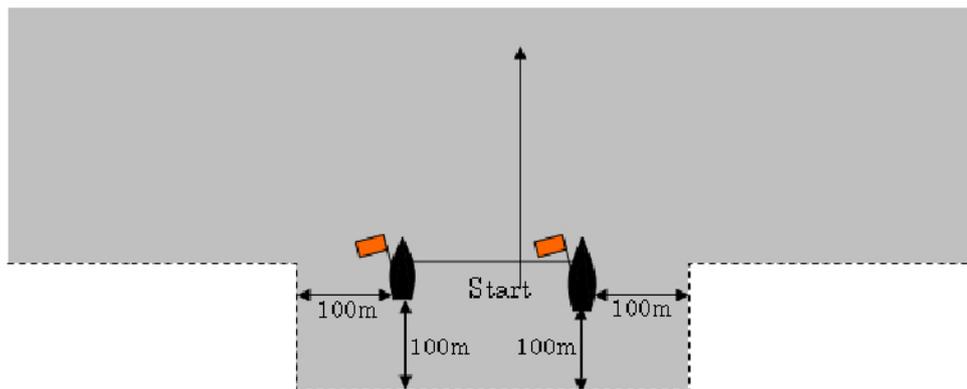


コース・コード「LR」

S-1-4s/4p-1-4p-F

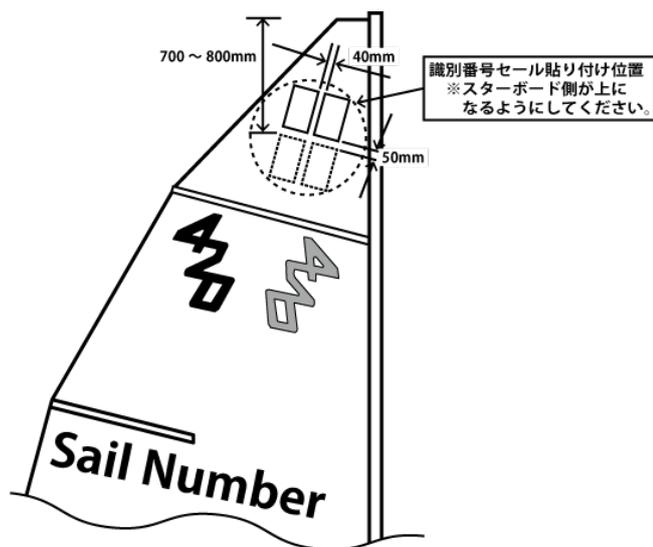


【添付資料 3】 スタート・エリア (SI12.2 に規定する「スタート・エリア」)



【添付資料 4】 識別番号貼付図 ※スターボード側が上になるように貼ること

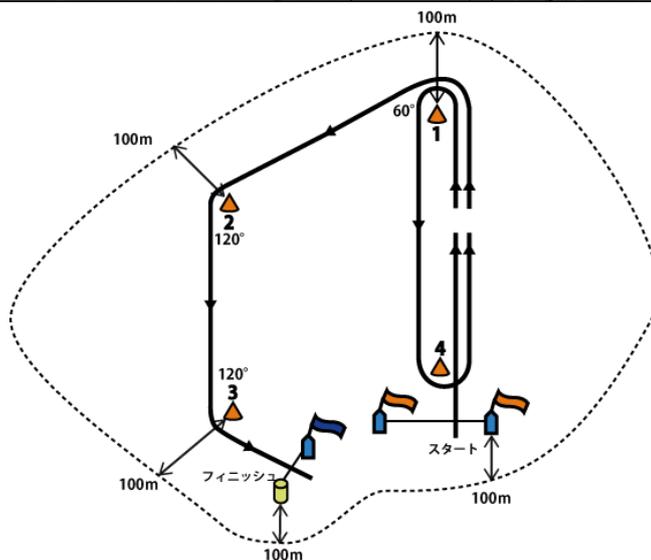
識別番号は男子が黒色、女子が赤色とする。全ての参加艇を連番とする。



※シングルハンダー級・FJ級についても準ずる位置に貼付すること。

【添付資料 5】 艇がレースをしているエリア

※破線内を「艇がレースをしているエリア」とし、レース中、支援艇は破線内に入ってはならない。



潮汐表（唐津）6月13日（木）～16日（日）

日	曜日	潮	満潮				干潮			
			時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位	時刻	潮位
13	木	小	02:15	156cm	13:53	159cm	07:25	107cm	20:23	76cm
14	金	小	03:04	154cm	15:06	150cm	08:41	108cm	21:18	86cm
15	土	長	03:58	156cm	16:29	147cm	10:17	102cm	22:20	93cm
16	日	若	04:51	161cm	17:48	149cm	11:33	91cm	23:22	97cm